

第二節 大正十年

大正十年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正十年四月七日豫備科及本科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス
同年同月九日新入學生ノ入學式ヲ行フ
同年同月廿七日 皇后陛下始メテ本校ニ行啓アラセラレ午後一時
ヨリ同五時ニ至ル間各科ニ於ケル授業ノ實際並ニ陳列参考品ヲ御
巡覽相成ラレ學校長ニ恩賜品アリ 職員生徒ニ御菓子料ヲ賜ハリ
タリ
同年同月廿九日靖國神社臨時大祭ニ付文部次官ヨリ通牒アリ 依
テ臨時休業トス
同年九月二十二日選科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス
同年十月四日本校設置記念日ニ付午前九時ヨリ職員、生徒、舊卒
業生等本校講堂ニ參集シ記念式ヲ行ヘリ
大正十一年一月九日午前十時ヨリ例ニ依リ職員生徒一同講堂ニ參
集シ授業始式ヲ舉ゲ御眞影奉拜勅語奉讀ヲ行ヒタリ
同年二月九日故議定官樞密院議長元帥陸軍大將公爵山縣有朋ノ國
葬ヲ行ハル、ニ付敬悼ノ意ヲ表シテ臨時休業セリ
同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第三十一回卒業式ヲ行ヒ例ニ
依リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌廿五、廿六

兩日間(前年迄)廣ク本校關係者及有志者等ニ觀覽セシメタリ
規程

大正十年四月二十六日文部省令第廿九號ヲ以テ高等師範學校等卒
業者服務規則ヲ定メラレ本校圖書師範科卒業生ノ服務ニ關スル件
モ同規則中ニ規定サレ從來ノ東京美術學校圖書師範科卒業生服務
規則(明治四十年文部省令第二號)ハ廢止セラレタリ

大正十一年三月二日文部大臣ヨリ本校規則中第六章第廿八條以下
第十二章第九十六條ニ涉リテ改正ノ件ヲ許可セラル 此改正ハ生
徒授業料、研究料、聽講料ノ増徴ヲ主トシ之ニ關聯スル徵收手續
等ニ及ボシテ條文ノ改廢ヲ為セルモノニテ大正十一年度ヨリ實施
スルモノトス

設備

- 一 日本畫科標本臨時設備費
- 一 西洋畫科標本臨時設備費
- 一 彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度以降年報と同文につき省略〕

職員

本年度ニ於ケル職員數ハ學校長一人教授三十二人(内五人ハ在外研究員ニシテ定員外ノモノ)
助教十九人書記六人囑託講師十三人同教員十三人同醫師一人副
科囑託三人教務雇七人事務雇九人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレバ
教授二人助教三人ヲ増シ囑託講師一人ヲ減ジ其他ニ在リテハ
増減ナシ

本校教官ニシテ文部省在外研究員ヲ命セラレ在外研究中ノモノ前
年度末ニ於テ教授四人助教一人アリシガ本年度末ニ於テハ教授

五人助教二人アリ

休職員ハ前年度末教授三人助教一人ナリシガ本年度末ニ於テハ教授二人ナリ

生徒

全体上ヨリ概觀シタル生徒ノ學力操行並健康ノ状態ハ前年度ニ比較シテ特ニ著シキ差違アルヲ認メズ 新入學生ニ在リテモ大要亦タ前年度ト同一状態ニシテ健康ノ程度ハ佳良ナリト認メ得ラル、ナリ

本年度新入學者ハ本科百四人選科三十一人(外ニ外國人二人アリ) 圖畫師範科二十二人研究生四十三人(外ニ外國人一人アリ)

ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者四十七人(全部豫備科修了ノモノ)私立中學校卒業者三十人(全部豫備科修了ノモノ)師範學校卒業者一人(豫備科修了ノモノ)工業學校卒業者十五人(全部豫備科修了ノモノ)工藝學校卒業者

十一人(全部豫備科修了ノモノ)ナリ 選科生ニ在リテハ中學卒業者三人工業學校

卒業者二人工藝學校卒業者二人中學二年修了者九人高等小學校卒業者十三人尋常小學校卒業者ニシテ入學試験合格ノモノ二人ナリ

圖畫師範科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者三人私立中學校卒業者二人府縣師範學校卒業者十七人ナリ 研究生四十三人ハ孰レモ本校各本科卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生ノ年齢ハ本科生ニ在リテハ最高二十七年最低十七年八月ニシテ平均二十年八月ナリ 選科生ハ最高二十六年九月月最低十七年七月ニシテ平均二十二年三月ナリ 圖畫師範科生ハ最高二十四年六月最低十七年十月ニシテ平均二十一年八月月ナリ 研究生ハ最高三十一年九月月最低二十三年一月月ニシテ平

均二十五年六月月ナリ(以上外國人ハ除ク)

生徒ノ入退學ハ本年度入學者ハ本科百四人選科三十一人(外ニ外國人二人アリ) 圖畫師範科二十二人研究生四十四人(内一人ハ外國人) 再入學者一人ニシテ退學者ハ病氣退學六人家事係退學二十七人除名十四人死亡二人在學資格消滅二十七人(内豫備科九人研究生十六人本科生一人圖畫師範科一人)ニシテ外ニ復校一人アリ 今之ヲ前年度末ニ比スレバ入學者ハ本科ニテ十一人選科ニテ二十一人研究生ニテ十一人ヲ増加シ圖畫師範科ハ増減ナシ 退學者ニ在リテハ病氣退學一人ヲ減シ家事係退學二十二人ヲ増シ除名ニ三人ヲ増シ死亡ニ四人ヲ減ズ 資格消滅ハ豫備科ニ四人ヲ増シ研究生ニ十二人ヲ減ジ本科及圖畫師範科ニ各一人ヲ増シタ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ圖案科ニ八人金工科ニ五人鑄造科ニ一人漆工科ニ二人選科ニ十九人研究生ニ一人圖畫師範科ニ九人ヲ増加シタリ 而シテ日本畫科ニ四人西洋畫科ニ三人彫刻科ニ一人ヲ減ゼリ 製版科ハ年度末前(三月廿四日)六人ノ卒業者ヲ出シ臨時寫眞科モ同ジク四人ノ卒業者ヲ出シ年度末ニ於テハ二科共ニ生徒ノ存在スルモノナシ 是前年度ニ於テ都合上二科共ニ生徒ノ募入ヲ見合セタルヲ以テナリ 而シテ總體ニ於ケル差引ノ結果ハ二十七人ノ増加トナレリ 此増加ノ原因ハ主トシテ選科生ノ増加セシ為ニシテ其他圖案科、金工科、圖畫師範科等ニ於テモ増加セシニ因レリ 此外ニ年度末外國人ノ在學ハ選科二十七人アリ 前年度末ニ比シテ四人ヲ増加セリ 本年度ノ卒業生ハ本科八十二人選科十一人(内一人ハ外國人)圖

畫師範科十九人計百十二人ニシテ前年度ニ比スレバ十二人ヲ減ジタリ。是レ日本畫科、金工科、鑄造科等ノ本科卒業人員前年度ニ比シテ少シク減少セシ爲ナリ。

生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ビ本校規則第二十六條ニ依リテ特待生ト爲シ大正十年七月ヨリ一學年間に授業料ヲ免除セシモノ二十一人アリ。之ヲ前年度ニ比スレバ一人ヲ減ジタリ。

圖畫師範科生徒ニハ前年度同ジク學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ奨勵金ヲ給與セリ。即チ大正十一年二月ニ同科生徒ノ競技會ヲ催フシ其成績ヲ考査シ優秀ナルモノニ奨勵金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優等ナルモノヲ選拔シテ同ジク奨勵金ヲ付與シタリ。

大正十一年三月末卒業スベキ各本科並ニ選科生徒等四十二人ノ實地修學ノタメ本年度ノ初四月一日ヨリ同月十七日ニ至ル間教授三人助教一人書記二人之ガ引率又ハ附添ニ任ジ京都府滋賀縣及奈良縣下ニ出張シテ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ研究ヲ爲サシメタリ。

同ジク十一年三月末卒業スベキ圖畫師範科生徒十九人ヲシテ實地授業法ノ調査研究ノタメ本年度五月二十六日ヨリ六月四日ニ至ル十日間教授一人之ヲ引率シ愛知、三重、奈良、京都、大阪ノ二府三縣下ニ出張シ調査研究ヲ爲サシメタリ。

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ。

將來施設上重要ト認ムル件

在外研究員ノ増員并ニ教官ノ外國派遣ノ件

從來ノ在外研究員ハ主トシテ歐米ノ諸國ニ派遣セラレンモ本校ノ如キ特殊藝術ヲ研究スルモノニ在リテハ歐米ヘ派遣セラル、モノ、外東洋方面ノ支那印度等ヘモ派遣シテ其ノ古美術ヲ調査研究セシムルコト亦緊要ト認メラル、ヲ以テ將來此方面ニ於ケル研究員モ併セ命ゼラレンコトヲ希望ス。

又在外研究員ノ外ニ時々教官ヲ外國ニ派遣シ學術上并ニ美術上ノ實地視察ヲ爲サシメ比較的短日月間ニ適切ナル新知識ヲ獲得セシメ直ニ授業上ニ應用シテ裨補スル所アラシメバ必ズ效果ノ著シキモノアルベキヲ思料ス。

豫備科教室新築ノ件

大正八年以來圖案科、金工科、鑄造科、漆工科ノ豫備科生徒ハ集合教授制ノ下ニ一教室ニ収容シテ諸種ノ實技習作ニ従事セシムルコト、シタルモ適當ナル教室ナキヲ以テ僅ニ銃器收納室ノ内部ヲ急設の改造ヲ加ヘテ假ニ其教室ニ充テ居ルモ斯ル假造的教室ニテハ不備不便甚シク授業上十分ノ効果ヲ収メ難キ遺憾アリ。因テ此等豫備科生徒ノ爲ニ設備ヲ完全ニシタル一教室ヲ新築スルノ要アリ。

彫刻科教室増築ノ件

明治四十二年本校校舍改築當時ニ在リテハ彫刻科生徒ノ總數ハ常ニ三十人乃至五十人ノ間ニ上下シタリシカ故ニ之ニ幾分ノ餘裕ヲ見積リテ設計シタリシモ爾來該科入學志願者ノ數、年ヲ逐フテ増加スルノ趨勢ナルモ設備不足ノ爲ニ入學者ノ數ヲ増加スルコト能ハズ空シク志望者ヲ沮遏スルノ止ムナキ現況ナリ。依テ彫刻科教室ヲ増築シテ總數百五十人ヲ容ル、ニ足ル程度ニ擴張セラレンコト

トヲ次年度ニ於テ提案セントス

女子部新設ノ件

近年女子教育ノ進歩ニ伴ヒ女子ノ専門教育ヲ受ケント希望スルモノ漸次其數ヲ加ヘ女子ノ美術教育ヲ受ケテ其身ヲ立テント欲シ本校ニ入學ヲ要求スルモノ尠至スルノ勢トナレリ 教育制度上最早此要求ヲ無視スルコト能ハサル時期ニ到達シタルモノト信ス之ニ應スル方案トシテハ男子ノ為ニ特設セラレタル東京美術學校ノ外ニ新ニ女子美術學校ヲ新設スルコト尤モ當ヲ得タル措置ナルベキモ容易ナラザル經費ヲ要シ實行困難ナルニ依リ代案トシテハ第一ニ既設ノ美術學校ニ男女共學制ヲ取ルニ在リ 第二ニハ既設ノ美術學校ニ女子部ヲ付設スルニ在リ 第一案ハ著手最モ容易ナレドモ男女共學ノ得失未ダ明ナラザル今日ニ於テ直ニ實行シ難ク第二案ハ既設學校ト同一ノ管理ニ置クカ故ニ經費ヲ要スルコト新設ニ比スレバ少額ニシテ足ルベク經驗アル教官ノ兼務及豊富ナル參考標本圖書ヲ共用スルコトヲ得ルガ為ニ其効果ハ却テ大ナルモノアラン 此趣旨ニ基キ本校ニ女子部ヲ付設サレシコトヲ希望ス依テ是亦次年度ニ於テ其豫算ヲ計上スル所アラントス

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ヨリ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

依囑製作一覽

品名	數量	受託年度	本年度竣工	依囑者
御飾時計	壹個	大正七年度	竣工	東京市
黃金鼎	壹個	大正八年度	同	同

文房具	壹個	同	同	同	同
群芳譜	貳卷	同	同	同	同
三輪田眞佐子銅像	壹基	同	同	同	三輪田元道
詹天佑銅像	壹基	大正九年度	同	同	橋三郎
得能良介銅像	壹基	同	同	同	池田敬八
御食堂車内部裝飾用彫刻及螺鈿板	貳拾四枚	本年度	同	同	鐵道省
御紋付御釣燈籠	貳對	同	同	同	宮内省皇后職
青銅記名板	壹面	同	同	同	橋本辰三郎

『東京美術學校校友會月報』記事抜粹

東京美術學校近事 〔一九一八〕^卷 T・一〇^年・二・二八^日

○職員辭令

大正九年十一月十日

任東京帝國大學教授兼內務技師文部技師如故 敍高等官二等 內閣
〔同〕 十二日 講師 關野 貞

依願免本官 文部省 助教 大石 靖
同 十六日 講師 關野 貞

史蹟名勝天然記念物調査會臨時委員被仰付 內閣
同 二十二日 教授 白井 保次郎